

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL.3

あさがわけきとく

厚狭川激特だより

はじめに

厚狭川激特だよりは、「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今回は、「厚狭川の東下津から殿町の概要」、「事業の進捗状況」などについてお知らせします。

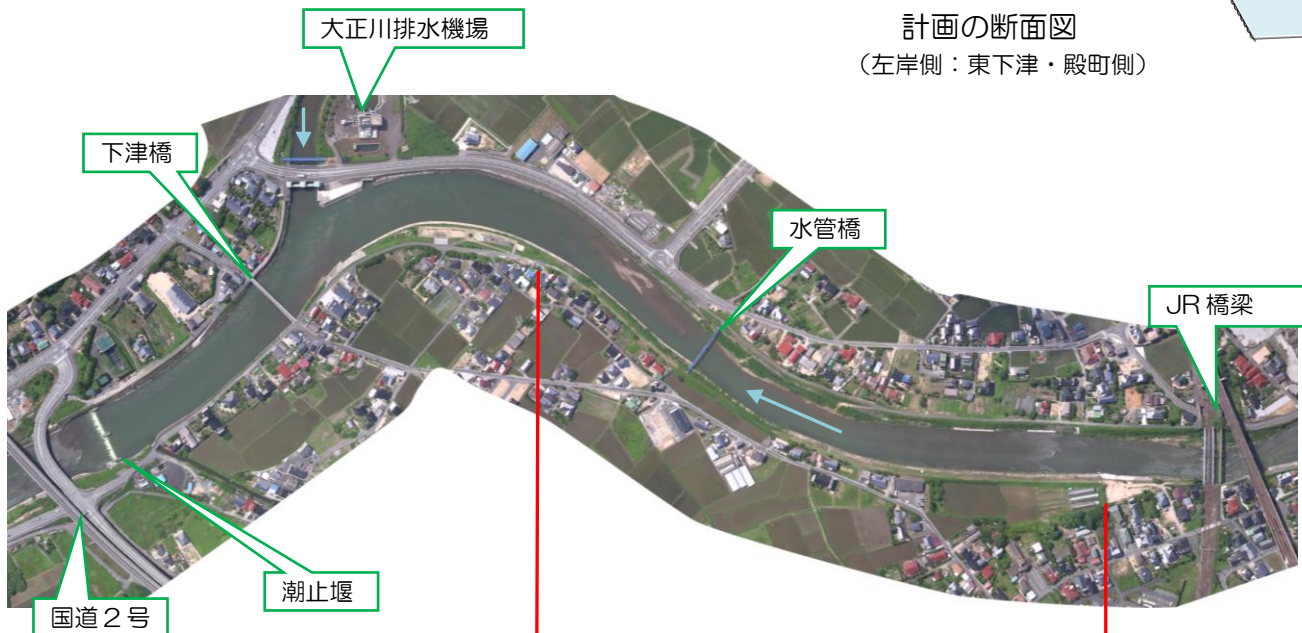
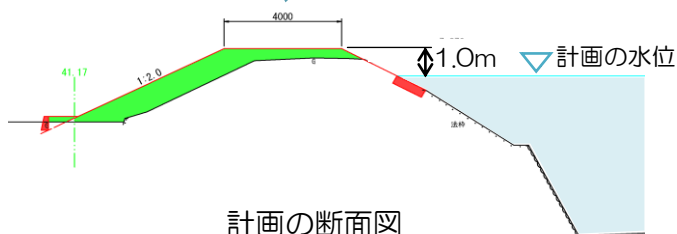
【整備の目標】 厚狭川および桜川において、河道の掘削及び拡幅、排水ポンプの増設等により、洪水を流下させる能力を向上させ、平成22年7月の豪雨規模の洪水による浸水被害を軽減します。

厚狭川の東下津から殿町の概要

厚狭川の潮止堰の上流では、左岸側の東下津地区から殿町地区にかけて、一昨年の洪水で水管橋付近の水位が堤防と同じ高さとなりました。昭和28年には水管橋付近の堤防が決壊し、東下津地区一帯が甚大な浸水被害を受けたこともあったようです。

現在、堤防の高さについての詳細な測量も終わり、計画の堤防の高さを満たしている右岸側に比べ、最大で約40cm程度低い左岸約700mにおいて、堤防の嵩上げを行っていきます。

計画の堤防の高さまで土を盛って締め固め、幅4mの堤防にします。また、堤防は、計画の水位に対して1.0mの余裕を確保します。



堤防の嵩上げ 約700m (嵩上高0~40cm)

事業の進捗状況

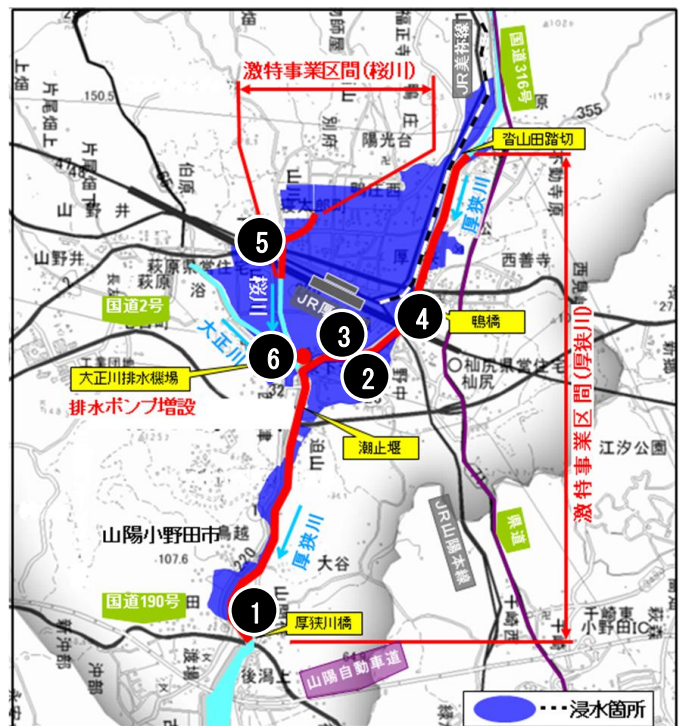
国道190号下流の後潟漁港において、厚狭川下流部の川底を作業船により掘削した土砂を陸揚げする場所の整備が完了しました。

洪水を安全に海まで流すことができるように、順次川底の掘削を行い、掘削した土砂をここで陸揚げし、整備した仮置き場で水分調節を行ったのち、ダンプトラックで処分場まで運びます。



後潟漁港（掘削した土砂の仮置き場）

- ① 厚狭川下流部では、川底を作業船により掘削する工事の準備を進めています。
- ② 東下津～殿町では、平成23年11月末に地域の皆さまへの説明会を開催しました。現在、川に隣接する土地の調査を進めています。また、一部工事の準備も進めています。
- ③ 潮止堰から水管橋付近では、川底を掘削する工事の準備を進めています。
- ④ 鴨橋周辺では、平成24年の秋から仮橋の工事に着手できるよう地域の皆さまと調整を進めています。
- ⑤ 桜川では、JR等関係機関との調整を行っており、設計が完了次第、地域の皆さまへの説明会を開催する予定としています。
- ⑥ 大正川排水機場では、ポンプの増設工事に着手しており、工場でポンプ設備の製作を進めています。また、平成25年の梅雨時期までの完成を目指します。



～ ちょっと一息 ～



10月から11月にかけて、厚狭川をこよなく愛するアユ釣師たちが思い思いに石を組んでつくった瀬で、落ちアユを釣る姿が見られます。話を聞くと、皆それぞれ、自分だけの瀬の作り方があって、また、その年の出水状況によっても瀬の作り方を変えているそうです。この時期、写真のように所々にアユ釣師たちが作った瀬を見ることができ、厚狭川の風物詩のひとつとなっています。

今後、厚狭川及びその周辺においては、工事に伴い騒音振動、交通規制、工事用車両の通行等でご迷惑をおかけすると思いますが、細心の注意をはらって施工いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

＜ お問い合わせはこちらまで ＞

山口県宇部土木建築事務所 〒755-0033 宇部市琴芝町 1-1-50
TEL 0836-21-7125 FAX 0836-22-5231

